

日本教育心理学会第49回総会 自主シンポジウム

指定討論： 大学教育における創造的問題解決力の意義

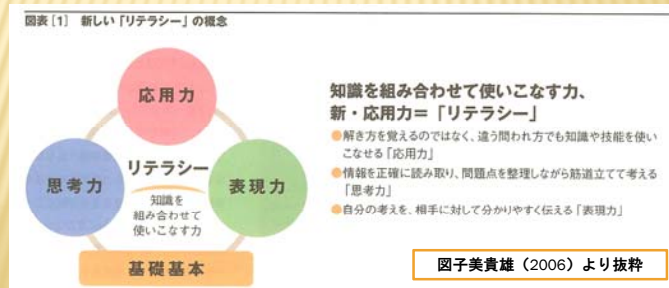
山田剛史／島根大学教育開発センター・専任講師

大学教育の現場で何が起きているのか？

- × 少子化予測
- × 1991年...大学設置基準の改正（大綱化）
- × 教養部の解体→専門教育に偏重
- × 「専門バカ」「教養無き大学生」
- × マスからユニバーサルへ（大学全入時代）
- × 1999年～学力低下論争（学力／意欲）
- × 評価時代（認証評価・法人評価）
- × 大学の学校化
- × 2004年...国立大学法人化
- × **学習観の転換を図れない大学生は「自ら学ぶ力」に乏しく、社会的ニーズに対応できない。**

社会は大卒者に何を求めているのか？

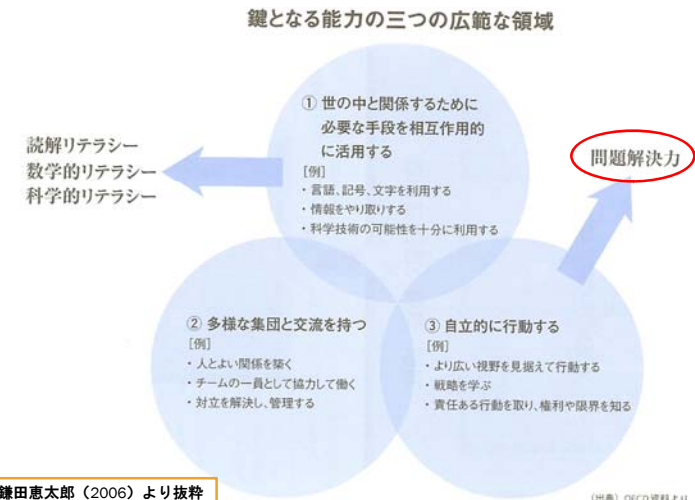
- × 日経連教育特別委員会意見書「新時代に挑戦する大学教育と企業の対応」（1995年4月）
「政治・経済・社会・化学などあらゆる分野で新政策や新技術などを企画・開発し、創造的な成果を生み出していくには、その背景を構造的に把握し、豊かな感性、インスピレーションの中から新しい構想を練り上げていく能力が必要である。」
⇒教養教育への産業界からの期待
- × 日本経団連「21世紀を生き抜く次世代育成のための提言」（2004年）
産業界が求める3つの力…志と心、行動力、知力
- × リテラシー（PISA調査, 下図）、キー・コンピテンシー（OECD, 次図）



社会に参画するための能力「キーコンピテンシー」

OECDが作成した「コンピテンシーの定義と選択」プログラム（DeSeCoプログラム）によって定義された能力

図表 [1] キーコンピテンシーと測定項目



人間力を養うための大学教育の様々な取組

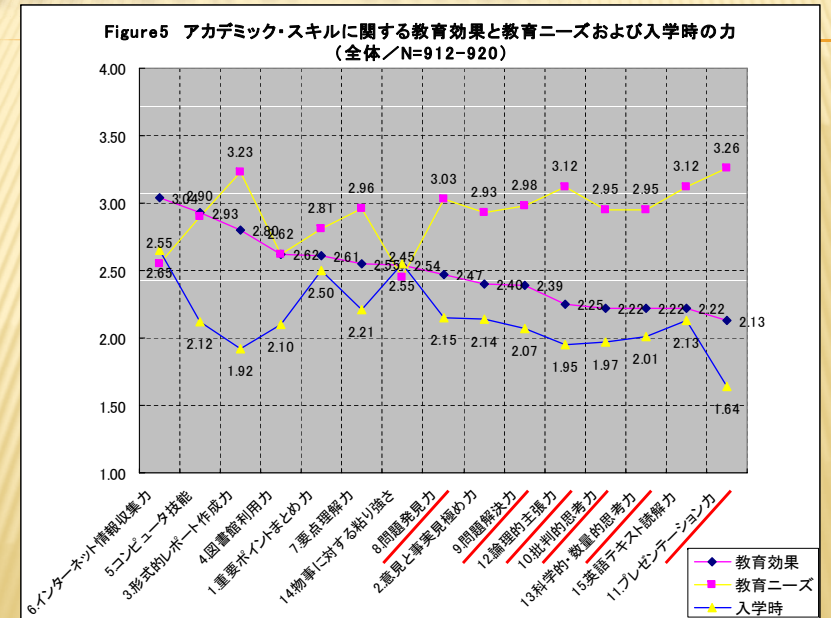
- ✦ PBL (Problem Based Learning) 教育 (cf. 医学, 工学)
- ✦ 創成教育／創成学習
(タマゴ落とし(名大), ロボコンなど)
- ✦ Active Learning
(体験学習, グループ活動, フィールドワーク, 討論学習, プロジェクト学習, 協調学習・CSCLなど)

など

*様々な大学教育改革推進のための文科省支援事業
特色GP, 現代GPなど

5

大学生の学ぶ力 (島大2006年度入学生調査より)



6

大学教育における創造的問題解決力の意義

- ✦ 多様化する大学・大学生, 情報化・国際化が進み即戦力が求められる現代社会, そうした中で改めて問われる大学教育の質, そして大学生の力。
- ✦ 創造的問題解決力を育成するための教育技法は, こうした新たな教育課題・人材育成への応答可能性を秘めている。
- ✦ また, 多様な学ぶ力を高めると同時に, 彼らの自己形成の一助ともなりうる。
- ✦ 最後に, ファシリテーターの育成が不可欠であること(FD), 領域固有性と一般化可能性の明確化, 評価方法の確立などの面でより一層の精緻化が課題としてあげられる。

以上です。

7